

第24回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ

—海と大気—

主催：日本気象学会

後援：気象庁，日本地学教育学会，(財)日本気象協会

毎年開催し好評を得ております「新しい気象学」を本年も開催します。この講座は，新しい気象学の普及をめざし，主として小・中・高校の地学・理科担当教師を対象として行うものですから，特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

記

対象 小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし，その他学生および一般の希望者。

受講料 一般6,000円，教員5,000円，気象学会員・日本地学教育学会員・学生4,500円（消費税込み）。

日時 平成2年7月24日（火）12時（受付開始）
7月27日（金）14時頃（終了予定）

場 所 東京都千代田区大手町1の3の4

気象庁講堂

ただし，台風来襲時等には講堂の使用が不能になりますので，会場を他に変更することもあります。

申込先 (〒100) 東京都千代田区大手町 1-3-4

気象庁内

日本気象学会事務局

Tel. 03-212-8341（内線 469）

申込締切 平成2年7月20日（金）まで

7月13日までに受講料の入金が確認できた方には，テキストを事前にお送りします（申込書参照）。

●会場への交通

地下鉄 東西線竹橋駅下車

もしくは

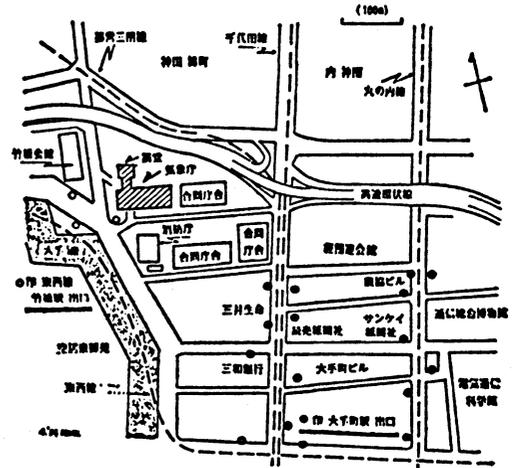
地下鉄 千代田線，丸の内線，半蔵門線，都営三田線
大手町駅下車

申込方法 次頁の様式の申込用紙に記入して申し込んで下さい。参加決定次第受講票をお送りします。ただし，定員に達し次第締め切ります。

受講料は，1 現金書留，2 郵便為替，3 振替貯金（口座番号 東京 3-5958，加入者名 日本気象学会）のうち適当なものを御利用下さい。

特典 受講者には，講義全内容のテキストを無料配布します。全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除，学会出版物についての便宜をはかります。

テキスト テキストのみ希望される方は代金を添えて必要部数を申し込んで下さい。1部1,500円，送金方法は受講料の送金方法に準じて下さい。なお，刊行部数が少ないので希望者ではできるだけ早めに申し込んで下さい。



第24回夏季大学「新しい気象学」受講申込書

第24回夏季大学の受講を希望いたしますので申し込みます。

受講料は、1. 現金書留、2. 郵便為替、3. 振替貯金で送りました。

(受講料の送金方法1~3のいずれかを○で囲んで下さい)

平成2年 月 日

氏 名 年齢 歳 職業

自宅住所 (〒) 電 ()

勤務先等名称
連絡先 (〒) 電 ()

所属学会

テキスト送付希望の方はどちらか一方のに×印を記入して下さい(7月13日迄)。

..... 切 取 線

平成2年第24回夏季大学講義時間表

—海と大気—

	午前 (10時~12時)	午後 (13時~15時)
7月24日 (火曜日)		気候システムとしての大気と海洋 浅井 雷雄 (東大・海洋研) エネルギーや物質の循環を通して大気と海洋のかかわり合いを眺める。さらに人間活動の気候変動におよぼす影響についてもふれる。
7月25日 (水曜日)	海洋大循環 石崎 廣 (気象研究所) 深層まで含めた世界中の海洋で、海水はどのように循環しているのでしょうか。風と熱による影響を概観します。	天気図をさぐる—基礎編— 永沢義嗣 (気象研究所) 天気図は何を表しているか。天気図から何が読み取れるか。天気図という道具を使って気象の実像に迫る。
7月26日 (木曜日)	熱帯の海と世界の気象 新田 勲 (気象大学校) 今年熱帯の太平洋では約4年ぶりにエルニーニョ発生が現れています。エルニーニョがおきると日本や世界の天気はどのような影響を受けるのでしょうか。	天気図をさぐる—演習編— 永沢義嗣 (気象研究所) 前日の講義をもとに、天気図の面白さを体験しながら天気図の意味を考える。
7月27日 (金曜日)	沿岸の気象 藤部文昭 (気象研究所) 海陸風、季節風による雪など身近に起こる現象を取り上げ、沿岸の気象と海のかかわりを考える。	映画 海と大気のかかわりをテーマにした映画・ビデオを上映する予定。

水曜日または木曜日15時から気象庁見学の手配(台風の襲来、地震の発生などの場合は見学を中止することがあります。)